

厚木基地の空母艦載機移駐の早期完了などを要請

大和市基地対策協議会が要請活動を実施

市民、議会、行政の代表者で組織される大和市基地対策協議会(会長:大木哲市長)は、厚木基地にかかわる諸問題の解決を図るため、8月25日、防衛省、駐日米国外務省、外務省、総務省を訪問し、「厚木基地の早期返還と基地対策の抜本的改善に関する要望書」を提出しました。

この要望書では、8月9日に開始された空母艦載機の移駐を一日も早く完了させ、市民の負担軽減に結びつけるよう求めるとともに、移駐後の厚木基地の運用などを早急に明示するよう求めました。また、厚木基地に起因するさまざまな負担の軽減や航空機の安全対策の徹底、基地周辺対策などの拡充を要望しました。

これに対し、防衛省の深山延暁地方協力局長は「移駐を着実に進め、適時進捗を説明していく。移駐後、騒音状況は相当程度軽減されるものと考えており、負担軽減につながるよう努力したい。恒常的な空母艦載機離発着訓練施設の選定については引き続き検討を進めていく」などと回答しました。

米国外務省のアーロン・スナイプ安全保障政策課長は「移駐は着実に前進しているが、移駐後の計画については日本政府と調整したい。空母艦載機の着陸訓練については今後も厚



防衛省で深山局長(左奥2人目)に対し要請活動をする大和市基地対策協議会の代表



総務省で小倉総務大臣政務官(中央奥)に要請活動をする同協議会の代表

木基地で実施されないよう努め、恒常的な空母艦載機離発着訓練施設の実現に向け今後も日本政府への働きかけなどについて協力していきたい」と述べました。

外務省の岡本三成外務大臣政務官は「我が国の安全保障のための負担を厚木飛行場周辺住民の皆様にかけていただいている、という現状を認識している。恒常的な空母艦載機離発着訓練施設ができるまでは、引き続き空母艦載機の着陸訓練が厚木基地で行われることのないよう米側に求めていく。地元住民の安心安全のため、いただいた一つ一つの要望に真摯に取り組むとともに、しっかり情報共有してまいりたい」と回答しました。

総務省の小倉将信総務大臣政務官は「予算総額の増額が重要で、今後ともこれまでの予算措置の経緯や基地が所在する市町村の実情等を十分踏まえ、所要額確保に向け努力していく」と回答しました。

大和市基地対策協議会では、今後も厚木基地にかかわる諸問題の解決に向けて取り組んでいきます。

大和市役所基地対策課基地対策担当
 ☎(2660)53110 FAX(2660)53166

健康遊具体験会を開催



市は、健康づくりや介護予防のため、健康遊具体験会を開催します。同遊具の正しい使い方や運動のコツを学ぶことで、効果的なストレッチや筋力トレーニングができます。ぜひご参加ください。

とき▼①11月9日(木)・②15日(水)
 いずれも午後1時30分～3時
 ところ▼①大野1号公園(集合は上草柳コモン)、②中央七丁目広場(集合は中央七丁目自治会館(中央7-4-12))

対象▼市内在住者
 講師▼市保健師・理学療法士
 持ち物▼飲み物、動きやすい服装、運動靴。①は室内シューズも申し込み▼電話で高齢福祉課へ。



大和市保健福祉センター高齢福祉課
 さいき推進担当 ☎(2660)5613 FAX(2660)11566